

裏磐梯の哺乳類

野生の動植物にあふれた現在の裏磐梯は、1888年に磐梯山が噴火して一部の山体崩壊が起こった後も、森林や生態系が順調に回復していることを示しています。在来種の亜種であるツキノワグマやオコジョ（学名：*Mustela erminea*）、また在来種であるニホンザル（学名：*Japanese macaque*）、ニホンカモシカ、リスなどをはじめ、およそ40種の哺乳類がこの地域に生息しています。